

川柳アート

出来事を「自己中」で見る
 エコカー減税のため、八月初めには一日に三十四億円もの財政支出。政治は税金の配分が主たる仕事。エコカーを買えない俺が納めた税金を、あんなことに使ってる。ああ……

今月の
八木健



選者・川柳アート
八木健

(月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者)

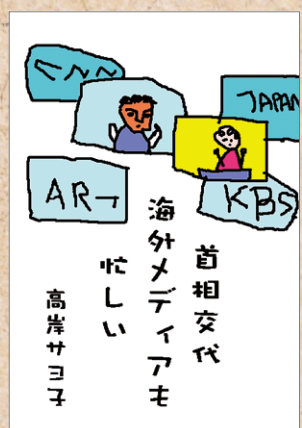
特選



田辺 進水 (松山市)

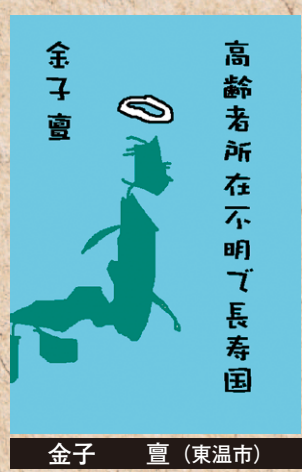
高血圧の訳は白衣のイケメンで
 逆もありですね。低血圧のわけは看護婦不美人で……、失礼しました。多少血圧が正確になっても、イケメンの方が「オトクカン」がありますね。田辺進水さんは全国的に知られた川柳作家。

佳作



高岸サヨ子 (八幡浜市)

首相交代海外メディアも忙しい
 本当は、誰が首相になっても同じなんです。海外のメディアからすれば、奇妙な国ということになります。頻繁な首相交代が珍しくなくなると、ニュース価値が減ると、今度は「珍しく長命な首相」としてメディアが忙しくなる。



金子 宣 (東温市)

高齢者所在不明で長寿国
 日本が世界一の長寿国になつてい理由として、韓国のメディアが顛末をいち早く伝えた。「所在不明」は、まさか姥捨山の現代版ではあるまいが、可能性としてはある。それを今は、誰も口にしないだけのこと。



石原 康正 (松山市)

モツタイナイ蚊に吸われるなら献血を
 献血は一度に二百とか四百ミリリットルだから、蚊に吸われる量と比較にならない。なのに「モツタイナイ」なんて石原さん。献血一回分で数百匹の蚊を喜ばせることができるのですよ。



森 精一郎 (松山市)

腰痛で落した小銭拾えない
 落した小銭拾って腰痛が悪化した……、なんてことになりかねない。私も腰痛だが常に杖を持ち歩いていて、こんな場合は、杖の先に画面テープをつけて小銭を回収する。小遣い稼ぎ用として、新案特許「ネコババ杖」を売り出すか。



兵頭 紀子 (鬼北町)

丁寧な言葉の裏を読める耳
 「川柳は言葉のレントゲン写真」。このキャッチフレーズは八木健の創案したものだ。まさに「言葉の裏を読む」のが川柳ですね。そういう耳があると「本音」を焙り出すことができる。

古今の名句



古川柳

本降りになって出て行く雨宿り
 川柳は誰かを揶揄するものだが、それはまた、自身にもあてはまるから可笑しいのです。五十歩百歩を笑うわけですね。それは人間共通の心理による行動を笑うということです。

本コーナーが
 待望の単行本化
 好評発売中!!

「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限りません。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。